

会 議 の 経 過

1 開 会 午後3時

(小椋教育長) これより第5回倉吉市教育委員会定例会を開会する。

2 前回議事録承認

3 議事録署名委員の選出 仲田委員

4 議 事

(1) 議案第14号 鳥取県中部地区教科用図書採択協議会の倉吉市教育委員会が選出する採択協議会委員の承認について

(資料に沿って、学校教育課長説明)

教育長 以上、議案第14号の提案がありましたが、いかがでしょうか。

(各委員異議なし)・・・承認

5 協議事項

(1) 平成30年度倉吉市の重点施策の実績及び評価について

(資料に沿って、各課・館・所長説明)

教育長 いかがでしょうか。前回も見いただしていますが、教育総務課の2ページ一番下の工事の関係ですけど、どうしてBでしょう。予定どおりできて繰り越したのは、内示が遅く、年度内にできなかったエアコンとブロック塀ですから、これはAでも良いんじゃないですか。

教育総務課長 Bは目標を達成したということでBです。

委 員 高い設定ですよ。Bが110%未満でしたか。

教育長 工事みたいなものは、きちんとできてもAにはならないということですか。わかりました。

委 員 29ページの災害復旧の射撃場も同じ意味ですね。完成できたからAで良いかとみたら、Aにならないのは何かあったからかと判断しました。工事だからということですか。

教育長 これは、すぐにはできなかったんです。大分時間がかかって、団体からも大分言われていました。

委 員 では、仕方ないですね。

教育長 でも、工事自体は、もちろんきちんとできました。

委 員 11ページのところで、「よりよい倉吉教育を目指して」で、施策評価がAとなっていますけど、特別支援とかB、BがあってひとつAがあって、総括的评价になるとBなのかなという気はしないではないです。

学校教育課長 こちらにつきましては、下の方に教育助成のところが載っていますが、これが皆様から好評で、学校現場からも良いと、特に早めたところを評価いただいています。それでこの評価が高くなっています。

委 員 わかりました。

教育長 BとAの数だったら、委員の言われるとおりBです。全体Aにならない、Aのマ

ルです。

学校教育課長
委 員

では、Aのマルでしょうか。

その関連で、19ページ公民館活動、これもA、Aがあって施策評価がBになっています。公民館頑張っているのに、Aではないかなと思いますが、なぜBでしょうか。

生涯学習課長
教育長
委 員
生涯学習課長
委 員

次のページのところも含めて、全体で見た中では、やはりBです。

Aが3つで、Bが2つなら、Aじゃないでしょうか。

公民館活動を頑張っておられるので、Aではないでしょうか。

ありがとうございます。

20ページの「人づくり・地域づくり」で、もしかして、この高校生ボランティアの参加が、微妙に少ないというも気になるところです。6月に高校生2人参加とか、非常に少ないときがあると、ここの評価はBなのかなという気がします。

委 員
生涯学習課長

ここはたくさん項目がありますよね。

高校生も、ようやくきっかけ作りができてきたところで、ちょっと人数的には確かに少ないですが、中学生の早い段階から、ちょっとずつ関わりが広まりつつあり、前進してきているという理由で、そのような評価です。

委 員
生涯学習課長
教育長

去年までは、なかったんですか。

そうですね。ちょっとそこは意識して、仕掛けてみたいと思います。

この辺は、よく頑張っていたなと思っています。本当は、高校生は市教委からすると権限外なんです。でも地域からみると、やはり高校生は大事で、なんとかそこを繋ぎたいと意識して、課長が申しましたとおり、まだ始めたところで、これが定着すれば良いですけどね。どこからも文句がなく、倉吉が何勝手なことをしていると言われなければ良いですけど。

委 員
教育長

高校生だからという捉え方をすると、権限外ですけど、地域、生涯学習という意味で、当然当たり前という意味で捉えますので、これからも頑張っていたきたい。

引き続き努力します。

委 員

35ページの「山上憶良短歌賞」のところで、2月に「文芸表彰式」がひとつだけぼんと出てきている。文芸表彰式は、山上憶良短歌賞と関わりのある施策でしょうか。

図書館長

おっしゃるとおりだと思います。これはひとつだけしか出ていないため、途中経過が何もありませんので、考えたいと思います。

委 員

主な施策のところの表題を変えてみたら、山上憶良を通じて、文芸を通じて、短歌を通じてとすると、文芸全部が入るような表題にすると、どこに入ってもいいのではないのでしょうか。

委 員

同じところです。35ページです。「山上憶良」に、この「文芸」が入っているんですけど、やはり全体的に評価していただいた方が良いと感じているところです。山上憶良もすごく頑張っていらっしゃると思うし、みんなが参加していらっしゃると思いますけど、BということはAにならない何がと考えていらっしゃるか、聞いてみたいと思います。

図書館長

Bと考えましたのは、当初、全国に発信するので、たくさん応募があつてほしかったのですが、実は県内をみますと、市はともかくとして、東伯郡あるいは東部、西部の応募数が下がっていました。実は、県内の方を目標をたて、アップさせたいと思っていましたので、なかなか成果が上がらなかったため、Bにさせていただきました。

委員 私もそのように感じました。やはり全国的に発信することは大事ですけども、先ず地元です。今館長が言われたように、倉吉市、東伯郡、やはり地域のなか、身近なところに、もうちょっと参加してもらっていきようにしないと寂しいかなと、そこに力を入れるべきだと思います。

教育長 社小は全校応募するとか、西中、東中とか、社小の子はすべて応募するとか、社公民館には別のアプローチをお願いしようと思っています。去年、館長が途中で代わられたことがあって、そのあとこちらでも後押しできていませんでした。

委員 今の話の関係で、表彰式は地域でされたということは、とても良いことだと思います。やはり全国発信をされているから、高いレベルの表彰者があって当然だと思いますが、地元がもっと力を出さないと、本当の山上憶良短歌賞の意味とは何だろうか、そこで考えました。地域から発信して行って、あと市、東伯郡につなげるような、そういう取り組みがあると、より良いものになるかなと感じました。

教育長 はい。ありがとうございます。

委員 公開講座等で短歌が簡単に学べるような、生涯学習の中で、一般の方も集めて、次年か数年組んでいかれて、図書館に行ったら、短歌が自由に作れるような本や個室があって、作って、それを応募するとか、そういったことも取組みのなかには面白いかなと思いました。

図書館長 11月に行われる大人のための短歌教室では計画しましたし、図書館では短歌創作コーナーをひとつ作っていますけど、やはりまだまだだなどというところがあります。よく考えて力を尽くしていきたいと思います。

委員 図書館だけでなく、生涯学習課さんとの連携ということもあるでしょう。それはそれとして全く単純な話で、実績評価のアルファベットの文字の大きさが、全角なり半角なり統一していただきたいということがひとつ。それから教育の創造のところの最終評価のコメントの欄で、各施策について概ね当初の計画通り実施することができたというのは、全体の創造についてのコメントであって、次にチョボ（・）があって、適正配置についてのコメントがあって、もう少しわかりやすい表現の仕方があるのではないかということ。そして文書を読みますと、「である」調とか、「ですます」調とか、それぞれ表現が各課によって、まちまちなところがあるので、前回も言ったような気がしますけど、統一した方が良いのかなと思っています。次に質問というか確認です。最初の1、2ページのところで、3月までの実績のなかで、予定と書いてあるのは、例えば協議会の立ち上げに係る説明会が、未実施とか、予定とは、やったのか、やってないのか。それから最終評価のところ、3月末には名簿を提出していただく予定である。とあるが、もう3月末の実績なので、できていなければ4月中に提出予定であるという表現の仕方を変えられた方が良いのではないかということがひとつ。次に、学校から要請訪問で、いろいろ勉強しておられるわけですけど、そのレベルアップが、本当にしてあるのか、していないのか。その辺りを検証されて31年度の計画が落とし込んであれば、それはそれで良いですけど、その辺りをしっかり見極めて次に繋げていただきたい。それから人権問題で温度差があるというコメントがありましたが、その温度差について、次年度はどういう対策をとられるのか、次の話に出てくるのでないかと思いますが。それから不登校については良くなったということは出ていますが、不登校に限らず、問題行動とか、いじめが入っているので、その辺りのところで、いじめが全体的に減っているのか、減っていないのか。その辺

りのところで、いじめがやはり ABC の評価が必要なのではないかと感じています。それから倉吉検定の久米中、河北中の実施については、平日なのか、土曜日授業でやられたのか、その辺りのなかで土曜授業をいかして、一定の学年、全中学校の2年なら2年でふるさとのテキストを使いながら、検定試験を受けた後、公民館長さんと例えば誰かが説明しているのか、そういった土曜授業があっても良いのではないかとというご提案です。

教育長

ありがとうございました。

学校教育課長

人権のところは、また後ほど改善点で、それからいじめのことも評価の中に入れる必要があるということで、ここもまた成果指標を設けながら、次年度考えさせていただきたいと考えています。それから検定は土曜授業で実施しています。2校ともでは、なかったですが、どちらかが土曜授業でしました。

教育長

いじめの認知件数については、ゼロの学校の方が疑われていますので、本当にゼロなんですか。では逆に件数が去年よりも上がった方が評価としては良いですとも言いにくい部分がありますし、いじめの件についても成果指標はよく考えないといけません。ただ件数だけではなくて、現状で、ほぼ解決したとか、解決に向かっているのが何割くらいあるか、という指標を考えないといけないと思います。

委 員

件数ではなくて、問題行動がありました、いじめがありました、それに対して学校現場とか教育委員会等が、どのように対処して解決に向けたのかそれを深い学習に結びつけたのかを A とか B とかということだと思います。

教育長

トラブルは当然起こるし、いじめもあるので、何人か人間が集まれば、それがその後どうなったかのほうが大事です。ありがとうございます。

委 員

5 ページの最終評価のところ、18 校のうちの 13 校、13 校のうちの 9 校とあると、あと残りのところはしていないのかと、単純にみるとそう考えられるので、その辺の表示の仕方とか、言葉の使い方とかが気になります。しておられないことはないでしょうけど、これだけ読んでみると、できていなかったのかなと、とられがちだと思います。

学校教育課長

このところは間違っているところがあります。A のところは積極的に先行実施を行ったということと、B のところは先行実施を行ったということです。8 校以下というところが実施していなかったということです。積極的に行っているというところが残りの部分で、9 校のところは先行実施で積極的にというところが少なかったとご理解いただきたいと思います。

委 員

例えばこれは議会でも見られますよね。そんなことは多分ないし、そういうふうに見られがちだと思います。そういうことはないし、あつてはいけないと思いますし、表現の仕方に気をつけて考えた方が良いかと感じました。

学校教育課長

はい、修正しておきます。

教育長

これは学校に対するアンケートで集計しています。そう答える学校が何校と集計しています。おっしゃるとおり、やっていないことはないんです。やってはいるんですけど、積極的に取り組めたという部分で、感じている学校が 9 校ですか。

学校教育課長

4 校です。

教育長

こちらの見方は小学校は 30 年度の方はかなり授業研究には力を入れてくださったと根拠はありませんけど印象的にはあります。

委 員

だからそういうものは伝わるように表示した方が良いですね。

学校教育課長 はい。

教育長 ありがとうございます。他にはありませんか。

委員 6、7ページです。たくましい体の育成、喫煙防止教育を全校でなかったということなんですけど、そもそも計画として全校でやりましょうとか、何年ごとでやりましょうというところでしていますか。

学校教育課長 原則、今やっています性教育は、中学校の全校でやりましょうという中でしていませんでした。喫煙防止は全校でやりましょうという中で小学校の方で全校でしていませんでした。

教育長 それは指導すれば良いですね。今年度計画に入れてくださいということを伝えれば良いです。他にはいかがでしょうか。

委員 多分していないから、取り消し線を引いていますよね。例えば5ページのところしていないところ他の月で、したと書いてあったり、結構、外国語教科からの対応とか線がたくさん引いてあるのでどうなのか。多分予定だったのにしなかったから線を入れたのかと思うがこれで良いかどうか聞きたいと思います。

学校教育課長 他の課のところと揃えるというご指摘がありますので、消してかからないといけません。

教育長 見え消しで残してないのですね。他のところは。

学校教育課長 他の課はないですよ。

委員 あります。

委員 あるので、こんなにしていないのに評価はAか。単純に思ってしまったって勘違いされないように。

教育長 倉吉市全体の評価は見え消しで残すようになっているんですか。

教育総務課長 なってないです。

教育長 消しましょう。見え消しでは残さない。だったら取りましょう。

委員 ありがとうございます。

委員 成人式のところで保護者も妨害行為をしたと表現になったところがあるんですけどあったんですね。

生涯学習課長 1階の席に保護者も入れるようにしていました。その中で煽った状況がありましたので、今回は席を2階以上にしました。

委員 なんか違和感がありましたので、保護者が、と思ったので……。ありがとうございました。

教育長 他にはいかがでしょうか。

委員 30、31ページ文化財のところですけども、文化財パンフレットを作られたりとか結構いろいろされていたなと思ったので良いと思ったんですけど、パンフレット自体が計画を立てていて、それが普通に実施できたということですかね。

文化財課長 はい。110%以上の実施には満たなかったです。

委員 ぎりぎりのところでしたか。

教育長 パンフレットなら建物の工事とは違って、できあがりの中身の出来具合によっては良ければAがあっても良いかなと思いますけど。

委員 改めて倉吉市の文化財のことについて、「ああ」と思わせる良いものだと思います。

文化財課長 ありがとうございます。パンフレットという1行のみの評価ではなく、他のものに

引き取られてしまいました。

教育長

そうですね。今回はこのままでということにします。

他にはよろしいでしょうか。ご意見がないようでしたら、この件たくさんの修正意見をいただきましたので、その修正を加えていただいて承認いただくということでよろしいでしょうか。

委員

はい。(各委員意見なし)

(2) 平成 31 年度倉吉市の重点施策に基づく実施計画について

(資料に沿って、各課・館・所長説明)

教育長

以上、説明していただきましたが、いかがでしょうか。

委員

適正配置のところですか。当該地域のものがずっと年間計画としてあるんですけど、当該地域以外は市の全体の問題として、捉えることも必要かなと思います。年に1回くらいはシンポジウムとまでは言わないけど、全市民レベルで適正配置について考えるような取組みも必要かなと考えますけどいかがでしょうか。

学校教育課長

今いただいたご意見を念頭に入れながら、ただ危惧していますのはどこまで進むのか、その進み具合によって説明ができるようでしたらシンポジウムのなところを考えてみたいと思います。

委員

委員がおっしゃられるように、情報を全体にある程度進んでいるのか、進んでいないのか、含めたところで形は別として、伝えていただくような方向で考えていただければと思います。

委員

地域の問題にされてしまっているという感じがあって、地域外の人は関心が多分薄れてしまっているかなと。倉吉市の子どもの問題ですし、倉吉市の税金を使っているんですから、自分たち全体の問題だと意識できればいいかなと考えます。

教育長

方向としては、なんとか修正案的なものになってくるような話し合いになれば良いなと思っていますけど、今学校教育課長が申しましたとおり、提供できるものがないのではいけないので進み具合をみながら、定例教育委員会では現状を素直に方向をお答えできると思っていますので、困っていることも含めて、それはさせていただきます。

委員

今のに関連して、市民の方はもう統合ないんだねと言われる方がやっぱりあるんですね。どうなっているんだと言われるところがあって、やっぱり情報発信は必要のかなと思われるけど今言われたように、きちんと答えられるものがないときに、これからこの会がどのようにしていくのかと思います。

教育長

月に1回くらいは継続していきたいと思っています。必要があれば我々も出かけていくのでご協力をいただきたいと思います。

委員

12 ページで7月に若者向けの県連の講座ができるということで、非常に喜ばしいことだと思います。ただ本当に開くには時間とか場所とか周知の仕方とか、いろいろなことが問題になってくるような気がするんですけど、その辺りしっかり詰めてもらって若い人にこういう講座を聴いてもらう機会ができれば、今までになかなかそれができていないので、すごく良いことだなと感じています。

教育長

周知 PR をしっかりとお願いします

委員

11 ページ女性連絡会の内容を教えてください。

委員

あり方についていろいろな議論をされていたかと思います。

生涯学習課長

社会教育の範疇で女性団体の育成ということで、以前は組織があったりしたんです

けど、今はなかなか組織が各地区でなくなってまいりましたので、そこをちょっと連絡会という形で、特にあまり組織化せずに、地域の中から出てきていただくという形で、いろいろな課題について一緒に勉強してもらおうという取組みをしています。今どちらからという、中学校区位でまとまってテーマを設けて、例えば、環境の問題をみんなで学習しようという形で、取組みを進めていただいています。その代表者会で、そういった調整をして中学校区ごとで研修を行い、交流をするという形で、あまり会長さんとか 役割を課さないというなかで、なんとか地区から出ていただいている実態です。

委 員

出てきてもらうのは地区から1名か2名。

生涯学習課長

はい。地区によってばらつきがあります。女性部がなくなってしまっている自治公もありまして、代表を出そうとするとなかなかでてこないということもあって、そういったなかで取組みを進めています。

委 員

そういう取組みになると、そういうことを聞きづらいのかなと気がしないでもないけど、何か決まった目的があって、こういうことだったらあるけど、目的がちょっとはっきりしないかなと気はします。

委 員

会長になったことがあります、その後に議論があったんですけど、私が会長になったときも、ようはみんなの意見交換する場所ではあるけど出たくない、反対にきちんと目標を決められるとかえって出たくないというのがあるのかな。ただ女性の組織が必要ではないかという目的のために集まっているみたいに思っているところがあって、では、どういう活動をしたら良いかという議論がなされて今に至っているのかなと思います。

委 員

ある程度その女性の連絡会的な人からの意見があがってきてこういう取組みに繋げていく場でしょうか。やっぱりそういう声があるんですね。

教育長

30年度がどんな様子だったかどんな意見があったか報告してもらえたら様子かわかるのではないのでしょうか。

委 員

そうですね。お願いします。

教育長

1億総活躍の時代と言われながらなかなかです。

委 員

代表で出るのが大変という意見と集まってでは何をするのか。私がいたときには各地区公民館の方が発表されるのが主で、ただ行って座っていることが多く何のために集まっているのという話もありました。

委 員

今年のPTA会長さんは女性が多いような気がします。うちもそうですし西中も河北中もそうです。

委 員

PTA会長というよりは地域の女性の団体の代表なので、うちのところでいうと各部落で女性の集いというのがあって、その代表が公民館に集まってその中から代表を出しています。

委 員

町内でいう婦人会ですね。ない地域もありますよね。

委 員

昔でいう婦人会です。そういう団体から毎年同じ人が出ているところもあり、やはりいろいろあって、かなり苦慮されてきました。

教育長

そうですね。生涯学習課として今話題になっている女性の地域での活躍みたいなことをどう捉えてどう進めていくかを考えなくてははいけませんね。この形あるこの会をなんとか継続していくのではなくて、新から村のなかになくともありますよね。

- 委員 村の中で女性の集いとして、各家庭から女性一人ずつ集まりましようと言っていますが、うちは出ませんという方があって、全部ではないとか組織が大分変わってきていてどうなのかなと思います。
- 生涯学習課長 そうですね。もう一つは男女共同参画の中で別の部署があって進めている形で、例えば女性の地位向上とか取組みが別にあるので、社会教育の中で女性の部分をどう取組むかをいろいろ議論したなかで今の形になりました。
- 教育長 議論の結果で、もしかしたら教育委員会の範疇ではないという結論になるかもしれませんよ。今もう一回議論し直せばそうなるかもしれません。
- 委員 男女共同参画の対象となる女性と、今ここでいう生涯学習課がしようとしている女性の年齢層は同じでしょうか、違うのでしょうか。ターゲットははっきりしないが、町内会婦人会という、うちの町内でいうと70から80代です。PTAだともっと若い方ですね。共同参画という若いイメージで30～40代、50代という気がします。全く次元が違うかもしれませんが、祖父母の孫育てというマニュアルがたくさん出ていますよね。市のホームページでもアップしているところがたくさんありますし、昔のやり方が全部違いますよといわれているなか、私らの世代で孫育てという講座があったら、ちょっと行ってみようかなとか思ってみたりする。その中で、例えば興味がある人は放課後児童クラブに手伝いに行くとか、保育園とか幼稚園にできるかどうかは別として、補助で行けるような人が出てくるとか、そうすると70前後のまだ元気なおじいちゃんやおばあちゃんの出かける場所ができました。そういう絵ができたうえでこのうだ・・・というように持って行かないと。集まって意見交換をしてどうしましょうかといっても、なかなか普通の方がでてきてもつまらないのではないのでしょうかと思います。
- 委員 何か村の中で見ている、昔だと小中学校、高校を卒業すると若者は青年団、結婚すると女性は婦人会、男性は壮年部なんかあって、それが年をとってくると老人会敬老会があって必ずどこかに所属していたのが、今はそうじゃない人が増えてきたっていうなかでの、多分この女性の集いのあり方、多分敬老会もそうだと思います。昔みたいにきっちり誰かがどこかの組織にいるあり方ではなくなっている中でのこの女性連絡会はどうなんだろうという捉え方だと思うので、そういう意味でいうと老人クラブみたいなものもそういう側面があるだろう。本当に考え出したら、きりがありません。
- 教育長 そうですね。社会教育の中でひとつ課題という考え方にしましょうか。本当に教育委員会の中で何ができるか、何をしなければならないか考えなくてはけません。
- 委員 人づくりにつながることになりますね。
- 教育長 今申し上げましたけど学校によっては今のやり方が一番落ち着いていると言われるところも多数あって、ごく一部でどっちが主導権なのとおっしゃるところはそこで協議してもらって、大事なの中身。名称は別に教育を考える会にこだわりませんので、中身のその会を企画運営していただくかということの方が大事ではなかろうかと考えます。
- 委員 14ページのところで放課後子ども教室がありますけど、関金の放課後子ども教室は、この間見せてもらったんですけど、同じようにこれは学校からするとみたら良いですか。
- 生涯学習課長 関金は他の地区と違いまして、学校の中で学びの教室というのを学校の図書室を活

用して、地域にいらっしゃる教職の資格を持っていらっしゃる方にご協力いただいて、取組みを進めているものがひとつと、それから児童館と連携した取組みということでやっているものがございます。児童館連携型ということで、それから青少協であったり、いきいきプランの実行委員会ということで、地域で年間を通して取組みを進めていただいているものとありまして関金はその3つの事業があります。

委員

そうですか。2つ目のところに放課後子ども教室1地区と書いてあるのは。

生涯学習課長

関金です。

委員

そういう意味ですか。さっきの説明のとおりですね。

生涯学習課長

学びの教室は図書室を使わせてもらって宿題をしています。

委員

他のところにはそういう動きはないですか。

生涯学習課長

はい。今後はやはり全地区に広げていきたいところではあるんですけど、まだそこまではしていません。

委員

わかりました。

委員

小学校とは別の取組みになりますか。

学校教育課長

別の取組みになります。

委員

学校訪問したとき見たのが、この今の2番目の学びの教室、図書室でやった分ですね。

教育長

放課後子ども教室は、全部でなくても良いかなという思いが若干あるのですが、ただ今のところは、手を挙げてもらって受け入れていただけたところですよ。無理矢理こちらの方からやってくださいというスタンスではないですよ、確か。

生涯学習課長

先ほどの女性連絡会の説明です。戦後社会教育という視点で女性団体を育成していく取組を進めてまいりました。それが昭和40年代には個人志向になって、昭和50年代には男女共同参画、時代が変わっていく中で、学習活動についても変わってきている。団体というより個人ということなので、参加型に変わってきました。倉吉市の歴史の中では、連合婦人会が昭和29年に結成されました。その中で女性婦人の地位教養向上、地域社会の振興の中で取組みを進めてまいりました。いろいろな取組みをする中で、各種女性団体も増えてきましたので、今度は、連絡協議会を昭和57年には組織がされてきて、その当時は、青少年の不良行為等での取組みを全体で取組んでいこうという活動がなされています。これまでのあゆみのところに、その流れが入ってくるんですけど、連合婦人会がさらに発展して団体連絡協議会そして婦人が女性という名前に変わって女性連絡会、それからだんだん衰退と申しますか、役を受けたくない中で、あり方を24年に検討しています。役員というものの自体を廃止、各種会議等からのあて職自体を全て辞退するという流れになってきています。運営要綱にあげられていますが、現在の女性連絡会の目的については、地区の女性代表の連絡調整、地区のその学習活動ができるように、全体で共有を図っていくことをやっています。現在の活動については中学校ごとでの活動、全体での研修会、そして学んだことを地区に持ち帰っていただいて、さらに活動を広めていただいています。各地区の状況というのは組織がほとんどなくなっています。先ほどご紹介ありましたが、上北条は女性の集いというものが現在活動されていますが、他の地区では解散状態です。上灘、成徳、小鴨、上小鴨については食改であるとか、JA女性会であるとか母体があるところが辛うじて活動しておられるという状況です。30年度の活動は全体で集まる代表者会、そして運営委員会を経て各種研修に取組みを進めていただいています。研修

交流会については全体での交流会は3月1日に子ども食堂について学んでいただいています。これは子どもの貧困ということで、県の機関であるとか現状の話や現在食堂をされている話を聞きながら交流学习をしていただきました。各地区の取組みについては、河北中校区ではこの女性連絡会について学んでいただき、東中校区では公証役場の活動報告というかたちで課題を設定してそこに向かっての学習していただき、そして西中、鴨中校区については地域資源ということで桜ウォーキングの活動でした。久米中校区については母体がありませんので公民館主事を中心として地域の女性向けの講座で活用できるハーバリウムというものについての学習をしていただいた。一番最後になりますけれども女性連絡会というものは学びの場、ツールの場、つながりの場ということで女性ならではの視点で課題をとらえて交流をする場ということで、緩やかに活動を続けていただいているという状況です。

教育長

いかがでしたか。

委員

社もありましたけど、なくなりました。やっぱりいろいろ問題がありますね。難しいと思います。今言われたように、こういう会をするから集まってくださいと、今スタートしないと、またこういう女性会を各地区にとするのは難しいと思います。役をしたくないという意見がでてくるのでなかなか難しいと思います。でも一方では、女性も活躍しないといけないし、社会の一員としていろいろなところに意見を言わないといけないと思いますし、何でもそうだと思います。男性の考え方、女性の考え方あって、初めて上手くいくことがあると体験しますので、大切だけど組織を持つことは、とても難しいと最近思っています。

教育長

そうですね。緩やかな活動でも、維持していくことに意味があるのであるなら継続しなければいけませんけど、生涯学習課長が言ってましたけど、男女共同参画とかあちらの方で似たような会があって、それなりに輝けたり活躍できることがあるのであれば、教育委員会が無理してこれを継続をしなくても良いという判断にもなりそうな気がして、今聞いていました。ひとつ今年度課題にして何らかの方法を1年後は示せるようにしましょうか。

委員

男女共同参画というのにも抵抗がある人もあります。だからここにあるように各地区でこういう催し物、30年度にされているようなことだったら参加できることの方が多いかと思います。

教育長

それは良いですけど、それだったら教育委員会が特にしなくても良いですね。

委員

それだったら地区で良いですね。

委員

地区公で似たようなことやっておられて、わざわざする必要はない。やっぱり男女共同参画じゃないけど、女性がいろいろなところに参画するようにならないと多分こう意見はなくならないし、誰かがやってくれたら自分はやりたくないという考えがここにつながってしまっている感じです。だからとても難しい。そうはいつでも例えば災害の時に避難所の設営の時に女性の力が必要、女性の目線じゃないとわからないことがたくさんあって、そこに意見を出す人をどう育てるかというのでも女性が出てくる場を確保しておく必要がある気がします。育てていないと出てこないということかなと思います。

委員

いわゆる自治公、公民館のあり方検討の中で、各地区組織があるのだから、女性連絡会の組織をどうするかではなく、公民館がどうあるべきか何をすべきか考える中で、市はこういうことをやってもらいたい。地区館長さんがこう思っている中で、災

害とか女性の活躍とか高齢者の活躍とか、いろいろな意味合いの中で検討されればどうかな。これはこれ、これはこれというのではなくてとは思いますが。各地区の催し物に女性だけしか出られないのですか。時間がある男性とか公証人を活用しようとしたとき、ちょっと聞いてみようかなと思いますし、そういったことで考えますと女性連絡会だけでまとまって考える必要はないかなと考えます。

委員

校区でなくても、各公民館の中で、内容によっては女性も男性も出てくる会の中で、女性が活躍する講演会とか組み込みながらやれば、参加しやすいのではないのでしょうか。

委員

すべての組織に通じるんですけど、今はどの組織にも入りたくない、自治公にも入りたくない、小学校だったら子供会に入りたくないPTAだってどうして出なくてはいけないの……。みんながとにかく個人で済ませてしまう傾向がある中での、ひとつかなという気がします。

教育長

議論は尽きないですが、今年度いろいろ考えさせていただきます。

その他にはいかがですか。

(各委員質問なし)

5 教育長報告

教育長報告（教育長 別紙のとおり）

6 報告事項

○教育総務課

- (1) 平成 31 年度倉吉市教育委員会事務局機構について
- (2) 区域外就学・校区外就学の承認について

○学校教育課

- (1) 不登校・問題行動の状況について

○生涯学習課

- (1) 平成 31 年度倉吉市社会教育関係資料について
- (2) 社会体育施設の利用状況について
- 〈3〉倉吉市スポーツ推進委員の委嘱について

○文化財課

- (1) 中部地震に係る被害物件修理完了進行状況について（3月末現在）
- (2) 平成 30 年度第 3 回伝統的建造物群保存地区保存審議会について

○倉吉博物館

- (1) 倉吉博物館協議会委員の委嘱について
- (2) 特別展「金澤翔子」事業経過報告

○図書館

- (1) 平成 30 年度倉吉市立図書館利用実績について

○学校給食センター

(1) 平成 30 年度学校給食用食材の生産地別使用状況について

教育長 何かご質問はございますか。

委 員 給食についてですが、外国産の豚肉利用が多いなという印象ですが、何か理由があつてでしょうか。

給食センター所長 特には理由はございません。

委 員 外国産はもちろん国の基準で安全性はクリアしているんでしょうけれど、やはりちょっと心配な部分があります。できれば畜産物などは国内産をお願いしたいなと思いますので、その辺努力していただければありがたいなと思います。

給食センター所長 はい。わかりました。

委 員 図書館は、貸出冊数が減っていることがすごく気になる場所ですが、本の買い方というところで、例えば新聞等で書評欄で紹介してあると面白そうだなと図書館で探すと、ないことがあり、すぐには入らないだろうと思って数か月後にみると、ないということが結構あるので、ちょっと評判になったものとか目に付くものがないと、やはり、どういう選び方が気になります。また選び方を考えてみられてはと、気になったところでした。

図書館長 おっしゃるとおりでして、いろいろ購入方法を考えようと思っています。今年度は一般書店さんに協力していただきまして、店舗でいろいろ情報を入れながら、ニーズにあったものを考えようと思っています。

教育長 図書館については、館長と時々話をするんですが、コーナーの中で山上憶良コーナーを増設してしまうとか、先ほど田民委員が言われたことができる場所、図書館は非常に広いし空間も大きいし、結構作れるんじゃないかと思っていますので、今年度は何らかの工夫がみられるはずです。

他にはありますか。

(各委員質問なし)

7 その他

次期委員会について調整し、次のとおり決定

日 時：令和元年 5 月 29 日（水）午後 3 時 00 分

場 所：倉吉市役所 第 3 会議室

午後 5 時 40 分終了

8 閉会